

編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町
 大字金木字朝日山323
 電話 532111 (代表) 内線40



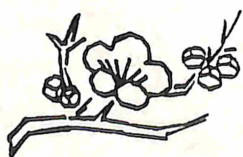
火災
 消防団
 出初式
 “ゼロ”
 お願い

新春恒例の町消防団出初式が五日午前九時から役場前広場を中心に幼年防火クラブや嘉瀬婦人防火クラブなどを合む約二百五十人が出席しておこなわれました。

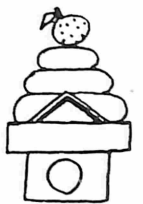
風雪のなかでの式は、放水演習のあと幼年防火クラブを先頭に役場前から消防署まで大橋町長の観閲で六分団が分列行進。火災“ゼロ”に願いを込めて勇姿を披露しました。

火の取り扱いは多くなるこの時期、町内における火災原因のトップはストーブ火の不始末で昨年一年間でボヤなどを含め十四件の火災が発生し、被害金額は約七千六百万円となっています。

謹賀新年



昭和63年 年頭のごあいさつ



金木町長 大橋 忠勝



明けましておめでとうございませう。

このところ不況の数年で舞うように、すばらしい年であるよう祈念致します。此頃の日本は、一握りの超

一流企業に携わる者、公務員、医師や順調な経営者のみが豊かな国、の感があります。テレビ等でボーナス支給額が報じられても、田舎の大多数の国民には無縁であり、他人事として悲し

く写るだけ——地方の農民や職の無い弱者に、もう少し味方する国にならなければ、の感があります。金木町も、昔日は出稼ぎをしながらも、昔日は出稼ぎをしながらも農業や畜産だけで生活できたし、三十工場の製材所を軸とする大工、左官、建具、板金、自動車等県下町村中最多の工業経営者数を誇っていた、繁栄せる一時期もあった——今こそ先取の精神で、将来を見つめ起ち上らなければ、と考えます。

金木町も昨年今頃は、一億二、七〇五万円の不足分を抱え窮々としていたが、このたび七四五万円の黒字で繰り越すことができ、感無量のものがあります。財政規模三三億円の七四五万円という黒字額は、実に些少ではありますが、ともかく今や黒字の町であり、勇断を以って諸事業に取り組みます。

一、「ばんえい競馬場のある町」

競馬開催によって、①一、三〇〇人の雇用可能

②ばん馬の飼育により有畜複合農業経営可能③堆

肥の使用による理想的な土づくり④飼料に青米、米ぬか等活用⑤莫大な稲ワラが必要——ワラ焼き公害解消⑥転作に牧草を——米作と同等の収益に⑦収益は近隣十二市町村に配分

二、雄大な芦野公園

- ①公園駅前埋立・緑化②中学校跡地芝張り・植樹
- ③ジェットコースター等設置策定④吊橋の対岸開発⑤動物園を大規模に(有料)⑥団体用トイレ建設
- ⑦テニスコート場整備⑧相撲場裏整備(トイレ・シャワー)⑨キャンプ場策定⑩昨秋遊歩道が賽の河原道に二箇所で連結したが、今後はグルリ一周の遊歩道策定(植樹・外灯)

三、宿泊湯治場があり(賽の河原)、団体客が泊まれる町づくり——民宿、大ホテル誘致。

四、ゴルフ場のある町づくり(財産区山、町営牧場)。

五、大規模スキー場の開発

六、舗装率県下一の町づくり。

七、軽飛行機・ヘリコプタ

一用飛行場建設の策定(半島振興法)。

八、ヒバ細工、曲物等土産品の開発と育成。

九、町有ヒバ林(大倉岳下)↓観光林、キャンプ場に。

十、男子雇用型企業の誘致。

十一、国有地(昭和町)私下げ完了——↓コミュニティセンター建設。

十二、老人国保施設(全国一二〇箇所)——医療法人による開設の指導。

十三、嘉瀬観音境内整備↓公園に。大東ヶ丘フィールドアスレチック整備。

十四、武道館、スケート場建設(金木中)。

十五、神田橋、袖柳橋、中柏木三番橋、夕日橋の架替。町営住宅団地の払下。

十六、喜良市「湯の沢冷泉」の開発策定。

十七、町民用球場(夜間・冬期用)の策定。

十八、青森——金木道(県道屏風山内真部線)の舗装完成。

十九、小田川ダムへの道路舗装。

二十、更生部落↑大東ヶ丘道整備・小型バス運行策定。

遊歩道敷地の 無償貸付者に感謝状



十二月十六日、町長室において、今年芦野公園の遊歩道敷地を町へ無償で貸付してくれた方々に対して、町長から感謝状が贈呈されました。

このご好意により遊歩道は整備が進み、吊橋から川倉養の河原まで徒歩での散策ができるようになりました。無償貸付者の方々は次のとおりです。

角田良逸、角田考司、角田良蔵、松宮ツエ、八幡宮、葛西正隆

昭和六十三年の年頭に当り、金木町議会を代表し、謹んで新年のごあいさつを申し上げますと共に希望にあふれた新春を迎え、町民各位のご清福とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。昭和五十九年三月改選以来早や四年を経過しようとしておりますが、その間議員



町議会議員
沢田 茂

一同微力ながら円滑な議会運営と町発展のため誠心誠意懸命の努力を傾注して参つたつもりであります。さて、昨年海外では年末近くに航空機墜落事故が相次ぎ多数の犠牲者が出るという痛ましい事件が発生しました。国内では、中曽根康弘氏が五年もの長きに亘った政権の座を降り、代って竹下内閣が誕生しましたが、日米外交、特に貿易摩擦や円高ドル安、それに全国的な地価高騰など難問題が

山積し多事多難が予想されるようであります。一方県内では青森市浅虫での殺傷事件から端を発した暴力団対立抗争が長引き住民を恐怖に落し入れましたが、反面、県民長年の夢だった青函トンネルの完成による本年三月開業に向けての試験列車運行それに新青森空港第一期工事の完成によるジェット旅客機の就航など明るい出来事もありました。昨年の我が町は、春先の凍霜害により稲作、葉タバコ等の農作物の収穫が落ち込み、予想以上の収入減となったようで、被害農家の

方々には、心からお見舞い申し上げますと共に新しい年が豊作であるようお祈りするものであります。国の農業政策は年々厳しく更に減反、転作の強化など農家にとつては非常に厳しい試練に立たされることが予想されますので、町としましては全知全能を傾け、みなさんのご協力を仰ぎながらこの難関を克服すべく努力をしなければならぬものと痛感致しております。当町では、他町村に比べて整備や解決しなければならぬ問題が山積しており、これらの実現と解決を図ること

が我々に課せられた責務でありますので、現状に満足することなく、住民の要望を汲み取り、少しでも豊かで住みよい町づくりに努めたいと思います。

本年は干支「辰」（龍は一寸にして昇天の気あり）にちなみ、一層躍進の年として、町政全般にわたり、内容充実最大の努力を傾注する所存でありますので、なにとぞ倍旧のご指導とごべんたつをお願いいたしますと共に皆様方のご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

おゆうぎ会



新たな交流と発展——北の飛躍をめざして

青森EXPO'88

青函トンネル開通記念博覧会 ■会期：昭和63年7月9日(土)～9月18日(日)
■会場：青森市安方地内(アスパム周辺)

おめでとう1988年

いよいよ今年は青函博

3月13日の青函トンネル開通が目前に迫り、7月9日からは、いよいよ青函博が華やかに開会します。

「青森EXPO'88」では、最先端テクノロジーやコンピュータを駆使したニューメディアの展示、楽しくユニークな企業展示などで青森県の未来像をお見せするとともに、日本の巨大エアドームの中では、有名タレントのショーやコンサートなど、毎日さまざまなイベントがお楽しみいただけます。

出展パビリオン

1) 「テーマ館」

「明日の生活館」として位置づけし、衣・食・住・遊・働など、私達のくらしを構成するあらゆるアイテムを取り上げて21世紀の望ましい生活の在り方を探る1万1千平方メートルの巨大パビリオンです。

2) 「21世紀青森館」

すでに昨年4月にオープンし、21世紀に向けて飛躍する本県の象徴である、高さ76メートルのピラミッド「アスパム」内に、豊かな未来性を感じさせる装置と造形によって、青森県の21世紀を提示する1万1千平方メートルの常設パビリオンです。

3) 「ヒューマンシアター」

「まつり、心、交流」をテーマに、青森から全国にメッセージを贈るとともに観客を非日常的な空間に誘い込む、立体映像シアターです。

4) 「交通未来館」

「交通とくらし」をテーマとして、青森県を中心とした陸・海・空の

交通の未来を提示しながら、リニアモーターカーなど夢の交通機関にもふれ、21世紀の交通の未来像を描き出すパビリオンです。

5) 「情報2001館」

著しい発展を遂げつつある情報システムの現状を総合的に紹介するとともに、本県における高度情報社会への夢を明らかにするパビリオンです。

6) 「雪とエネルギー館」

日本でも有数の豪雪地帯を抱える青森県の、その生活の中での産業と利雪・克雪を中心に据えながら、新しい方向性を探るパビリオンです。

7) 「みなと21館」

青森港の未来の姿を中心に、青森県の港湾、函館、東北の主要港湾、世界の港湾などを紹介し、また21世紀へ向けて生活のかかわり等について提示をする。

8) 「青函連絡船」

青函連絡船は、八甲田丸(5382t)を海上沖合40メートルの地先に仮泊させ、内部を一部改装して、海外バザールと海上レストランおよび無料休憩室として活用します。

★会期中には、歌謡ショー・コンサート・演奏会なども開催されます。

第2期 前売券好評発売中!

■入場料金

区分	大人	高校生	小・中学生	幼児
前売券	1,500円	1,000円	700円	200円
当日券	2,000円	1,500円	1,000円	300円

■前売券発売所

◎金木町観光協会事務局(役場商工観光課内)

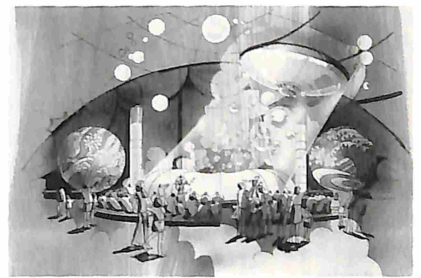
◎金木町商工会事務局

■前売券発売期間

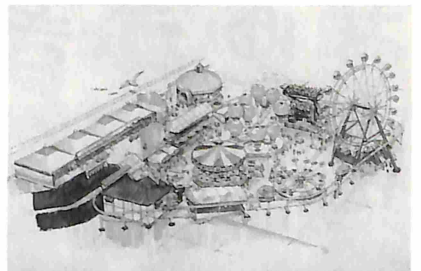
〈第2期〉昭和63年6月30日まで



▲青森EXPO'88会場図



▲エアドーム内のテーマ展示



▲アミューズメントゾーン

応募方法

前売券についている「抽選券」を切り取り、はがき1枚につき抽選券を1枚貼って住所、氏名、年齢、電話番号を明記のうえ郵送して下さい。

■送り先

〒030 青森市安方1丁目1番40号
青函博事務局「わくわく抽選」係
電話 0177(34)4511

■締切

(第2期)昭和63年7月7日必着

■抽選日及び当選発表

抽選日は、第1期は1月17日、第2期は締切日から1週間以内とし、公開抽選方法で行います。なお、当選発表は、新聞紙上で行います。



あ

ら

し

せ

国税だより

◎ 贈与税の申告をお忘れなく

昭和62年分の贈与税の申告は、昭和63年2月1日から3月15日までの間に、贈与を受けた方の住所地の税務署にすることになっています。

なお、贈与を受けた財産の評価方法や贈与税の計算方法などでお分かりにならない点がありましたら、お気軽に最寄りの税務相談室や税務署にお尋ねください。

贈与税2月1日～3月15日



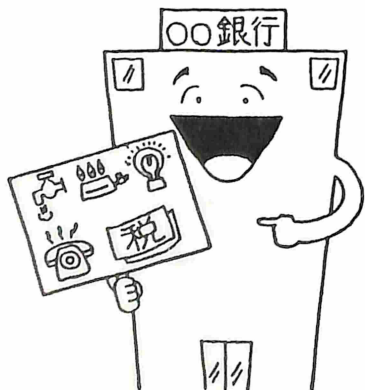
◎ 納税は期限内に

所得税の納税方法に振替納税の制度があります。

この制度は、銀行などの預金口座から振替によって納税するものです。

この制度を利用すれば納税のための手数が少なくて済み、また、ついうっかり納期限を忘れて滞納してしまうこともなくなり、大変便利です。

新たに振替納税を希望される場合は、預貯金先の金融機関か税務署に「預貯金口座振替依頼書」を提出してください。



国民年金の納付組織に加入しましょう

どんな方法で国民年金の保険料を納めていますか。

サラリーマンの厚生年金保険料や、公務員の共済組合掛金は給料から天引きされるので安心ですが、農業や自営業の方などの国民年金保険料は自主納付のため、ともしれば納め忘れることも考えられます。

そこで、納め忘れを防ぎ、ひとりひとりが納めに行く手間を省くために、地域の人たちが集まって作られたのが『国民年金保険料納付組織』です。

この納付組織は、〇〇婦人会や〇〇納税貯蓄組合などの名称で、係の人が個々の事情に合わせて集金をするなど何かと便利です。

あなたも、国民年金の納付組織に加入し、保険料を完納しましょう。

介護料支給のご案内

(重度後遺障害者)

～自動車事故対策センター～

自動車事故対策センターは、法律に基づき国が出資して設立された政府の関係機関です。東京に本部を、全国各都道府県に支所を置いて、自動車事故の発生の防止と自動車事故による被害者の保護の増進のためいろいろな業務を行っております。その一つとして、自動車事故により頭部又は脊髄に損傷を受け、常時介護を必要とする重度後遺障害者を抱える家族の精神的、肉体的、経済的負担の軽減を図るため、月額 3,800円（自宅で看護婦、家政婦又はこれらに準ずる者以外の者の介護を受けている場合にあっては、1,900円）の介護料を支給しています。

詳細は下記へお問い合わせください。
自動車事故対策センター青森支所
青森市長島1-6-9 青森東京生命館
電話 0177 (77) 8 1 1 0

昭和63年度 保育所入所児童募集

◎受付日時及び場所

- 1月21日（木）12時～16時まで
喜良市生活改善センター
- 1月22日（金）12時～16時まで
第3保育所
- 1月25日（月）9時～16時まで
1月26日（火）9時～16時まで
役場3階中会議室

昭和63年度 児童館入館児童募集

◎受付期間及び場所

- 1月21日から1月26日まで
役場民生課又は児童館

こんな販売手口にご用心



★不明な郵便物は手をつけずに保管する

催眠商法

健康食品・羽毛布団など



★タダの景品につられて、怪しげな説明会場などに近づかない。

係から

皆さんからのご意見を広く募集しています。

- 役場に対すること
- 町内に関すること
- 身近な話題
- アイデア

その他なんでも投書してください。投書は、庁舎内の投書箱を利用するか直接郵送してください。

《送り先》

金木町役場

企画室広聴係あて

※金木だよりに掲載もありますので町内・氏名は必ず明記し、匿名の場合はその旨をお書きください。

金木病院カルテ②8

「公立金木病院の現況について」

院長 江渡 諄 治

金木町民の皆様、明けましておめでとう御座います。我々公立金木病院職員一同は今年も又、誠心誠意皆様の健康を守る為努力する所存です。

さて当病院について患者さん以外の方は、日常、その内容について知る事が少ないのではないかと思います。それで今年最初でもあり、病院の現況についてお知らせしたいと思えます。

御存知の様に当病院は金木、中里町立ではありませんが、その守備範囲は、二町を越え、津軽半島の北端にまで

及んでいます。その事は例えば救急車の来院状況を見ても判ります。両町の平均七十数パーセントは当然としても、市浦小泊も平均三十数パーセントが来院しております。この地域の救急患者の大部分は当院で治療を受けた事になります。又、一日の外來患者数は、およそ二百五十人から三百五十人。入院患者もほぼ百三十人前後となっております。これらの患者さんの為、我々百五十人の職員は二十四時間態勢で診療にあたっている訳です。

近年病院を取り巻く医療環境は大変厳しくなっており、又、病院によって、それぞれ違います。公的病院全部に共通している事は、不採算部門を抱えている事です。

それは、地域の皆様に来る限り高度な医療を施す為、採算を度外視した人員の配置、又高価な医療機

器の導入をする必要があるからです。又それをする事が我々の使命でもあり、皆様の要望でもあると思えます。それが又経営を圧迫する一つの原因となっております。医学の進歩は日進月歩です。経営が苦しくとも遅れる訳には行きません。我々は経費の節約に、骨身を削る様に努めながら、一方では出来るだけ医療レベルを上げる様努力をしております。

幸い昨年は、念願のCT スキャナの導入が出来、病

気の診断に大変な威力を発揮しております。同時に弘大放射線科からの応援も得る事が出来ました。今、我々は県内同規模の病院中で、設備に於いて、ほぼ最高の水準にあるものと自負しております。

今年も又、苦しい中から更に充実した病院にする様努力しますが、これも町民皆様の御理解があつて始めて出来る事です。病院に対する御理解と御支援をお願い致します。

働く少年を激励!!



この日、会場には約九十名の新聞・牛乳配達をして

戸籍の窓

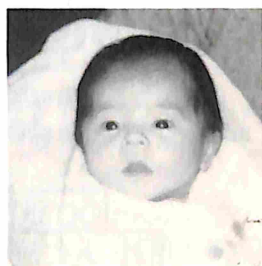
十二月届出

おめでとう

- 今 綾乃(昭彦) 喜良市
- 鳴海 結菜(春光) 嘉瀬
- 岡田 郁美(健児) 喜良市
- 田中 智朗(健弼) 金木
- 澤田 悠乃(國明) 嘉瀬
- 其田 翔太(弘美) 川倉
- 山田志保美(秀造) 金木
- 角田 鈴菜(正由) "

おめでとう

- (外崎 宏治(治) 金木
- 白岩かね代(恒克) 小泊村
- 小林 達弘(セツ) 金木
- 藤本 良子(誠二) 中里町
- 小笠原 修(秀一) 青森市
- 長尾多賀子(久雄) 金木
- 外川 智志(広樹) 平賀町
- 古川みどり(千代勝) 喜良市
- 田村 一郎(耕藏) 金木
- 長内たか子(武光) 板柳町



はじめまして 綾乃ちゃん

11月29日生まれ
体重 3,000グラム
喜良市下町
今 昭彦さんの長女

あぐやみ

- 中野 保樹(正) 五所川原市
- 木下 朱美(巽) 嘉瀬
- (土岐 紀久(忠男) 金木
- (葛西 親穂子(幸雄) "
- (内海 宏昭(治) 嘉瀬
- (成田 恵(誠) 鶴田町
- (木村 詳憲(松三郎) 東京都
- (原田 龍子(照美) 藤枝
- (高橋 彰(忠七) 函館市
- (原田 節子(きな) 藤枝
- (吉田 秋蔵(京一) 蒔田
- (奈良 克子(廣敏) 青森県
- (浜田 隆樹(春士) 市浦村
- (白川 育美(久慶) 川倉
- 黒川 俊吉(74歳) 嘉瀬
- 奈良 スエ(81歳) 喜良市
- 米谷 清治(58歳) "
- 杉林 イツ(83歳) 金木
- 白川豊太郎(88歳) 川倉
- 加福 良吉(88歳) 川倉
- 中谷 キヨ(73歳) 川倉
- 佐々木 清(68歳) 金木
- 工藤 武雄(75歳) 喜良市